

日本舞踊の基礎動作「オヒネリ」 の角度情報に関する報告

丸茂 祐佳
小島 一成
八村広三郎
黒宮 明

日本大学
立命館大学 吉村 ミツ,
立命館大学
名古屋工業研究所

1. はじめに

日本舞踊にはオヒネリという基礎動作がある。初歩の稽古では、師匠は子供の背後に立ち、この形のまま腰が伸びないようにギュッと両肩を押さえて厳しく教える。重心が正しく入っていなければ腰が横にずれるので、重心を真直ぐに下ろすことを身体で覚えさせているのだと推測する。

また、オヒネリは表現の上では普通に極るよりも時間が長く、また上半身（顔）が前に押し出されて極るので、観る者に強い印象を与えると同時に身体を捻るので美しさを増す効果もみられる。

モーションキャプチャで計測したオヒネリのデータをみると、肩と腰のベクトルに捻りはみられるものの、そこはオヒネリに入る時で身体的な苦痛は伴ってはいない。そのあと舞台面に対して腰を捻っていく時に身体的苦痛を伴うが、そこでは肩と腰のベクトルに捻りが無いことが判明した。

本発表ではモーションキャプチャで得られた動作データからオヒネリの骨格角度情報に関する報告を行うことにする。

2. 本研究の背景

2.1 モーションキャプチャによる舞踊研究

立命館大学21世紀COEプログラム「京都アート・エンタテインメント創成研究」のうち八村を代表とする「モーションキャプチャ・プロジェクト」では、研究の一環として丸茂の学位論文^[1]をもとに日本舞踊の身体動作のキャプチャを行い、得られたデータからそれぞれのタイプの基礎動作に共通の特徴を抽出し、解析を通じて稽古体系に関する構造を探っている。本報告ではオヒネリを取り上げる。

2.2 日本舞踊の骨格角度情報に関する研究

黒宮・吉村らは身体に固有の座標を導入することによって相対位置関係の変わらない各部位の位置情報を算出する方法を案出し、それを日本舞踊の個人差や上達度の測定に用いた^[2]。本報告では、オヒネリの身体部位の角度を計る尺度に黒宮・吉村らが提示した骨格角度情報を応用する。

3. 実験方法

本研究では光学式モーションキャプチャシステムで計測した3次元時系列データを利用した。本報告では、「初子の日」という初歩的な段階で習う子供の踊りの中から、次の2つのオヒネリを解析の対象にした。当該動作を歌詞で次に示す。

①「曳くや小松の千代の影」(配布資料:ヒネリ2)

②「顔わいな」(配布資料:ヒネリ3)

ほかに次の2つを比較対象にした。

③「初音の」(配布資料:ひねり1)

④「春あそび」(配布資料:ヒネリ比較)

4. 実験結果

4つの対象動作の骨格角度解析データのうち、解析番号6, 12, 13, 14, 15, 21, 26, 28を配布資料に示した。

5. 考察とまとめ

ヒネリ2・3(オヒネリ)の解析データについて、

①解析番号6の角度1から肩と腰の捻りはオヒネリの導入部に見られ、解析番号12の角度1は座標軸に重なっている。つまり、オヒネリは初めに振れがきて、その形を維持したまま動いていることがわかる。

②解析番号6・28の角度2は座標軸にはほぼ重なっており、腰を入れて三ツ振りを行う間、すべての角度情報はほとんど水平が保たれている。つまり、肩と腰は床面に対して平行なまま、上下動はしないで動いていることがわかる。

以上をまとめると、動いているところがない(計測した部分には動きがない)、角度は同じだが身体の向きは変わっている、という点で、データに厳しい動きが出ていることがみえ、身体の部位のどこかにしわ寄せがあることがわかった。

6. 今後の課題

現在、我々が保有しているヒネリに関する多くの計測データ^[3]を有効に利用し、

①オヒネリはどこが捻れているのかについて詳細に調べていき、重心を真直ぐに下ろすための身体訓練として重要な意味を持つこと。

②オヒネリが娘形の振りの中で多用される理由について、顎・首や胸の線と腰の角度が女らしさを感じさせるポーズに近いであろうことを探る。

を今後の課題にしたい。

なお、発表時はオヒネリという動作の理解を深めるために日本大学芸術学部演劇学科日本舞踊コース卒業生の廣田由加里さんによる実演の協力を得た。記して感謝する。

付記:本研究は文部科学省21世紀COEプログラム「京都アート・エンタテインメント創成研究」及び文部科学省科学研究費基盤B(課題番号16300035)「モーションキャプチャを利用した舞踊動作のアーカイブ化と数量化舞踊研究」(代表八村広三郎)によって行われた。

[1] 丸茂美恵子「日本舞踊における娘形技法の実証的研究」, 日本大学博士論文, 2001.3

[2] 黒宮明, 吉村ミツ, 村里英樹「骨格角度情報による日本舞踊動作の解析」情報処理学会研究報告, 2003-CH-58, pp65-71

[3] ①「初子の日」の被験者O(H), H(F)のデータ。②「梅の栄」丸茂と他の被験者D(H), M(F), F(W), O(H), H(F)のデータ。③オヒネリを含めたヒネリ50例と各ヒネリaddの合計100のデータ。